

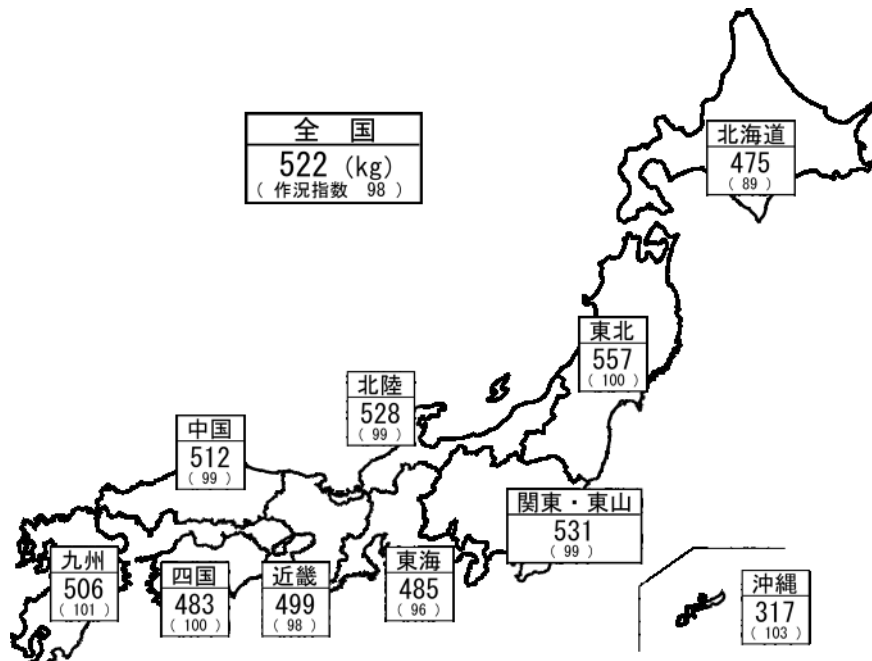
平成21年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－ 水稻の10 a 当たり予想収量は522kg(作況指数98) の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 平成21年産水稻の作付面積（子実用）は162万1,000haで、前年産並みとなった。
また、主食用作付見込面積は、159万2,000haが見込まれる。
- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、北海道では不稔もみの発生に加え、低温傾向で推移していることから、登熟不良となったものの、都府県では9月以降おおむね天候に恵まれ、登熟はおおむね順調に推移したことから、全国の10 a 当たり予想収量は522kg（作況指数98）が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は846万6,000 tが見込まれる。
また、主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量に乗じた予想収穫量(主食用)は831万1,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
- 主食用作付見込面積とは、作付面積(青刈り面積を含む) から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/suitou_091015/suitou_091015.xls 】

【関連するデータ、情報】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための基礎資料
- ・ 集荷円滑化対策において、過剰米数量算出の必要性の判断及び過剰米数量算出のための基礎資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の確認のための基礎資料
- ・ 農業災害補償法に基づく農作物共済事業において共済基準収穫量算定のための基礎資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料

◎関連データ

累年表

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	ha	kg	t		kg
昭.54	2 468 000	482	11 898 000	103	466
55	2 350 000	412	9 692 000	87	471
56	2 251 000	453	10 204 000	96	474
57	2 230 000	458	10 212 000	96	477
58	2 246 000	459	10 308 000	96	478
59	2 290 000	517	11 832 000	108	479
60	2 318 000	501	11 613 000	104	481
61	2 280 000	508	11 592 000	105	484
62	2 123 000	498	10 571 000	102	487
63	2 087 000	474	9 888 000	97	490
平.元	2 076 000	496	10 297 000	101	492
2	2 055 000	509	10 463 000	103	494
3	2 033 000	470	9 565 000	95	497
4	2 092 000	504	10 546 000	101	498
5	2 127 000	367	7 811 000	74	499
6	2 200 000	544	11 961 000	109	499
7	2 106 000	509	10 724 000	102	501
8	1 967 000	525	10 328 000	105	502
9	1 944 000	515	10 004 000	102	504
10	1 793 000	499	8 939 000	98	507
11	1 780 000	515	9 159 000	101	512
12	1 763 000	537	9 472 000	104	518
13	1 700 000	532	9 048 000	103	518
14	1 683 000	527	8 876 000	101	522
15	1 660 000	469	7 779 000	90	524
16	1 697 000	514	8 721 000	98	525
17	1 702 000	532	9 062 000	101	527
18	1 684 000	507	8 546 000	96	529
19	1 669 000	522	8 705 000	99	529
20	1 624 000	543	8 815 000	102	530

資料：農林水産省統計部『作物統計』

【調査結果】

1 平成21年産水稻の作付面積（子実用）は162万1,000haで、前年産並みとなった。
また、主食用作付見込面積は、159万2,000haが見込まれる。

2 10月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数はやや多くなったものの、7月中・下旬の低温等の影響による不稔もみの発生に加え、低温傾向で推移し登熟不良となったことから、10a当たり予想収量は475kg（作況指数89）が見込まれる。

東北では、7月中旬から8月上旬にかけて日照不足等に推移したものの、その後おおむね天候に恵まれたことから、10a当たり予想収量は557kg（同100）が見込まれる。

中国、四国及び九州では、全もみ数はおおむね「やや少ない」ないし「平年並み」となったものの、9月以降おおむね天候に恵まれ、登熟がおおむね平年を上回ると見込まれることから、中国は10a当たり予想収量512kg（同99）、四国は483kg（同100）、九州は506kg（同101）が見込まれる。

その他の地域では、全もみ数はおおむね「やや少ない」ないし「平年並み」、登熟はおおむね「やや良」ないし「平年並み」と見込まれることから、北陸は10a当たり予想収量528kg（同99）、関東・東山は531kg（同99）、東海は485kg（同96）、近畿は499kg（同98）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は522kg（同98）が見込まれる。

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は846万6,000tが見込まれる。

また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は831万1,000tが見込まれる。

表 平成21年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積 (子実用) ①	前年産との比較		10a当たり 予想収量 ②	予想収穫量 (子実用) ③=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ④	参 考		
		対 差	対 比			対 差	対 比		予想収穫量 (主食用) ⑤=④×②	10a 当たり 平年収量 ⑥	作況指数 ⑦=②/⑥
全 国	1 621 000	△ 3 000	100	522	8 466 000	△ 349 000	96	1 592 000	8 311 000	530	98
北 海 道	114 400	△ 200	100	475	543 400	△ 104 100	84	112 500	534 400	535	89
東 北	416 700	700	100	557	2 322 000	△ 52 000	98	405 900	2 262 000	557	100
北 陸	210 000	200	100	528	1 108 000	△ 36 000	97	201 400	1 062 000	533	99
関東・東山	299 500	△ 900	100	531	1 591 000	△ 52 000	97	295 700	1 570 000	534	99
東 海	104 500	△ 900	99	485	506 400	△ 30 200	94	103 600	502 500	503	96
近 畿	110 500	△ 300	100	499	551 800	△ 25 700	96	109 400	546 100	508	98
中 国	116 900	△ 300	100	512	598 200	△ 24 700	96	116 200	594 500	517	99
四 国	58 100	△ 200	100	483	280 500	△ 16 600	94	58 000	280 500	484	100
九 州	189 800	△ 800	100	506	961 300	△ 7 400	99	188 600	955 800	502	101
沖 縄	940	△ 70	93	317	2 980	△ 180	94	938	2 970	309	103

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、作付面積(青刈り面積を含む)から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。

3 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

統計表

【目次】

ページ

1	平成21年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）	6
2	平成21年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）	8
参考1	平成21年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び 10a当たり収量内訳（全国農業地域別概数値）	9
参考2	平成21年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）	10
参考3	収穫量調査の流れ	12
参考4	作況標本筆とは	13

【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中の「△」は、減少したものを示す。

【統計表】

1 平成21年産水稻の作付面積及び

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積 (子 実 用) ①	前 年 産 と の 比 較		10a 当 たり 予 想 収 量 ②	予 想 収 穫 量 (子 実 用) ③
		対 差	対 比		
全 国 1	1 621 000	△ 3 000	100	522	8 466 000
北 海 道 2	114 400	△ 200	100	475	543 400
青 森 3	49 100	△ 100	100	584	286 700
岩 手 4	56 400	△ 200	100	534	301 200
宮 城 5	73 300	900	101	529	387 800
秋 田 6	89 700	700	101	567	508 600
山 形 7	67 600	0	100	594	401 500
福 島 8	80 700	△ 600	99	541	436 600
茨 城 9	77 000	△ 400	99	522	401 900
栃 木 10	63 300	△ 200	100	543	343 700
群 馬 11	18 200	△ 100	99	500	91 000
埼 玉 12	35 700	△ 100	100	497	177 400
千 葉 13	62 000	△ 100	100	527	326 700
東 京 14	186	△ 1	99	405	753
神 奈 川 15	3 220	△ 10	100	498	16 000
新 潟 16	117 400	500	100	534	626 900
富 山 17	39 500	△ 200	99	537	212 100
石 川 18	26 400	0	100	511	134 900
福 井 19	26 800	0	100	500	134 000
山 梨 20	5 330	20	100	525	28 000
長 野 21	34 600	0	100	595	205 900
岐 阜 22	24 700	△ 200	99	460	113 600
静 岡 23	17 700	△ 300	98	503	89 000
愛 知 24	31 100	△ 300	99	499	155 200
三 重 25	30 900	△ 200	99	481	148 600
滋 賀 26	33 200	0	100	512	170 000
京 都 27	15 800	0	100	486	76 800
大 阪 28	5 840	△ 10	100	495	28 900
兵 庫 29	38 700	0	100	493	190 800
奈 良 30	9 340	△ 160	98	511	47 700
和 歌 山 31	7 650	△ 80	99	491	37 600
鳥 取 32	14 200	100	101	481	68 300
島 根 33	19 300	△ 100	99	490	94 600
岡 山 34	33 700	100	100	537	181 000
広 島 35	26 000	△ 200	99	521	135 500
山 口 36	23 800	△ 100	100	499	118 800
徳 島 37	13 700	△ 200	99	471	64 500
〔 早期栽培 38	5 330	△ 20	100	458	24 400
〔 普通栽培 39	8 410	△ 110	99	479	40 300
香 川 40	15 200	0	100	496	75 400
愛 媛 41	15 600	△ 100	99	494	77 100
高 知 42	13 500	△ 100	99	470	63 500
〔 早期栽培 43	8 020	△ 10	100	491	39 400
〔 普通栽培 44	5 520	△ 40	99	440	24 300
福 岡 45	39 400	△ 200	99	499	196 600
佐 賀 46	26 900	0	100	528	142 000
長 崎 47	14 100	△ 200	99	479	67 500
熊 本 48	39 700	0	100	516	204 900
大 分 49	24 800	0	100	502	124 500
宮 崎 50	20 200	△ 200	99	514	103 800
〔 早期栽培 51	8 760	△ 30	100	517	45 300
〔 普通栽培 52	11 400	△ 200	98	512	58 400
鹿 児 島 53	24 700	△ 200	99	494	122 000
〔 早期栽培 54	5 800	△ 150	97	466	27 000
〔 普通栽培 55	18 900	△ 100	99	502	94 900
沖 縄 56	940	△ 70	93	317	2 980
〔 第一期稲 57	679	△ 8	99	351	2 380
〔 第二期稲 58	261	△ 63	81

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、作付面積（青刈り面積を含む）から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。

予想収穫量（10月15日現在）

前年産との比較		参 考				全 国 都道府県
		主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=②×④	10a当たり 平年収量 ⑥	作況 指数 ⑦=②/⑥	
対差	対比	ha	t	kg		
t	%					
△ 349 000	96	1 592 000	8 311 000	530	98	1
△ 104 100	84	112 500	534 400	535	89	2
△ 13 900	95	47 600	278 000	580	101	3
△ 3 300	99	55 000	293 700	533	100	4
9 900	103	72 100	381 400	530	100	5
△ 27 200	95	85 600	485 400	573	99	6
△ 15 600	96	65 600	389 700	594	100	7
△ 1 600	100	80 200	433 900	537	101	8
△ 13 700	97	75 800	395 700	520	100	9
△ 3 600	99	62 100	337 200	539	101	10
△ 700	99	17 800	89 000	494	101	11
1 600	101	35 400	175 900	493	101	12
△ 20 400	94	61 600	324 600	533	99	13
△ 12	98	186	753	408	99	14
△ 400	98	3 220	16 000	488	102	15
△ 17 200	97	111 200	593 800	539	99	16
△ 7 000	97	38 200	205 100	535	100	17
△ 4 200	97	25 900	132 300	519	98	18
△ 7 800	94	26 100	130 500	517	97	19
△ 1 100	96	5 290	27 800	547	96	20
△ 13 500	94	34 200	203 500	623	96	21
△ 8 400	93	24 700	113 600	488	94	22
△ 4 400	95	17 600	88 500	521	97	23
△ 6 800	96	30 800	153 700	507	98	24
△ 10 600	93	30 500	146 700	500	96	25
△ 6 000	97	32 700	167 400	518	99	26
△ 5 700	93	15 700	76 300	511	95	27
△ 800	97	5 840	28 900	493	100	28
△ 10 100	95	38 200	188 300	504	98	29
△ 1 700	97	9 310	47 600	513	100	30
△ 1 400	96	7 650	37 600	493	100	31
△ 4 300	94	14 000	67 300	514	94	32
△ 4 500	95	19 200	94 100	509	96	33
△ 4 500	98	33 400	179 400	526	102	34
△ 5 700	96	25 900	134 900	523	100	35
△ 5 700	95	23 800	118 800	504	99	36
△ 5 600	92	13 700	64 500	474	99	37
△ 1 700	93	463	99	38
△ 3 500	92	480	100	39
△ 2 300	97	15 200	75 400	499	99	40
△ 5 200	94	15 600	77 100	498	99	41
△ 3 500	95	13 500	63 500	459	102	42
△ 1 500	96	478	103	43
△ 1 900	93	432	102	44
△ 1 800	99	39 000	194 600	499	100	45
2 900	102	26 800	141 500	527	100	46
△ 1 100	98	14 000	67 100	474	101	47
△ 2 300	99	39 300	202 800	515	100	48
△ 4 200	97	24 800	124 500	503	100	49
△ 400	100	20 200	103 800	493	104	50
900	102	475	109	51
△ 1 500	97	507	101	52
△ 500	100	24 600	121 500	479	103	53
△ 800	97	439	106	54
△ 100	100	492	102	55
△ 180	94	938	2 970	309	103	56
△ 240	91	370	95	57
...	58

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示している。

2 平成21年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

全 国 ・ 都道府県	刈 取 期							刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		%	ポ イント		
				対 平 年	対 前 年				
	月 日	月 日	月 日	日 遅	日 遅				
北海道	9. 26	10. 5	10. 14	9 日遅	6 日遅	97	△	3	
青森	10. 1	10. 12	…	10 日遅	5 日遅	70	△	26	
岩手	9. 26	10. 7	…	2 日遅	1 日早	86	△	7	
宮城	9. 24	10. 3	10. 13	3 日遅	2 日早	96		0	
秋田	9. 26	10. 6	…	5 日遅	4 日遅	93	△	5	
山形	9. 25	10. 5	10. 13	4 日遅	並 み	98	△	1	
福島	9. 27	10. 12	…	2 日遅	並 み	76	△	7	
茨城	9. 2	9. 15	9. 26	1 日早	2 日早	100		0	
栃木	9. 14	9. 24	…	1 日早	4 日早	93		1	
群馬	9. 27	…	…	…	…	49	△	4	
埼玉	8. 31	9. 24	…	並 み	並 み	86	△	2	
千葉	8. 22	9. 4	9. 13	1 日早	2 日早	100		0	
東京都	9. 27	10. 4	…	4 日早	並 み	90		12	
神奈川県	9. 20	10. 10	…	7 日遅	5 日遅	82	△	6	
新潟	9. 13	9. 24	10. 5	1 日遅	1 日遅	99	△	1	
富山	9. 3	9. 19	9. 27	2 日遅	4 日遅	100		0	
石川	9. 2	9. 15	9. 28	1 日遅	4 日遅	100		0	
福井	8. 27	9. 11	9. 26	2 日遅	4 日遅	100		0	
山梨	9. 19	10. 4	…	2 日遅	1 日早	85	△	3	
長野	9. 19	10. 4	…	4 日遅	2 日遅	85	△	9	
岐阜	9. 1	10. 3	…	並 み	並 み	76	△	1	
静岡	8. 25	9. 22	…	1 日早	1 日早	87	△	1	
愛知	8. 29	10. 4	…	並 み	並 み	70	△	2	
三重	8. 21	9. 2	9. 18	並 み	並 み	100		0	
滋賀	9. 7	9. 17	9. 29	2 日遅	2 日早	100		0	
京都	9. 7	9. 25	…	3 日遅	1 日遅	90	△	2	
大阪	9. 14	10. 12	…	1 日遅	1 日遅	70	△	1	
兵庫	9. 8	9. 26	…	並 み	1 日早	83	△	9	
奈良	9. 10	10. 13	…	並 み	2 日早	62		0	
和歌山	8. 29	9. 18	10. 13	1 日早	1 日早	97		0	
鳥取	9. 8	9. 23	…	1 日遅	2 日遅	94	△	2	
島根	9. 3	9. 20	10. 12	4 日遅	6 日遅	97	△	2	
岡山	9. 10	10. 5	…	並 み	2 日遅	65	△	1	
広島	9. 6	10. 1	…	6 日遅	7 日遅	91	△	5	
山口	9. 9	9. 25	…	並 み	4 日遅	93	△	1	
徳島	早期栽培	8. 13	8. 19	8. 30	並 み	並 み	100		0
	普通栽培	8. 23	9. 11	10. 14	1 日遅	2 日遅	97	△	2
香川		8. 25	10. 3	…	2 日遅	2 日遅	85	△	1
愛媛		8. 20	9. 23	…	並 み	2 日遅	92	△	2
高知	早期栽培	8. 1	8. 11	8. 22	1 日遅	3 日遅	100		0
	普通栽培	9. 18	10. 5	…	2 日遅	2 日遅	90	△	2
福岡		9. 2	10. 4	…	並 み	並 み	85		0
佐賀		8. 31	10. 8	…	並 み	1 日早	67	△	4
長崎		8. 23	10. 12	…	3 日遅	1 日遅	64	△	12
熊本		8. 15	10. 7	…	並 み	3 日早	68	△	1
大分		9. 17	…	…	…	…	47	△	11
宮崎	早期栽培	7. 23	7. 30	8. 5	並 み	1 日早	100		0
	普通栽培	9. 30	10. 13	…	1 日早	3 日早	64		2
鹿児島	早期栽培	7. 26	8. 3	8. 12	2 日遅	1 日遅	100		0
	普通栽培	10. 3	10. 14	…	並 み	1 日早	59	△	2
沖縄	第一期稲	6. 11	6. 23	7. 20	5 日早	4 日早	100		0
	第二期稲	…	…	…	…	…	0	△	3

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考1】

平成21年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳
(全国農業地域別概数値)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（【参考3】参照）。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりである。

単位 { 重量割合 : %
平均対差 : ポイント

区分	合計	ふるい目幅						
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
全国農業地域								
全 国								
重量割合	本年値	100.0	75.3	17.4	3.1	2.1	1.3	0.8
	平均対差		2.4	△ 1.7	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1
北 海 道								
重量割合	本年値	100.0	66.9	24.4	4.1	2.6	1.3	0.7
	平均対差		△ 13.9	10.3	2.0	1.1	0.4	0.1
東 北								
重量割合	本年値	100.0	80.3	14.2	2.4	1.5	1.0	0.6
	平均対差		3.4	△ 2.5	△ 0.4	△ 0.4	0.0	△ 0.1
北 陸								
重量割合	本年値	100.0	79.6	14.5	2.4	1.7	1.1	0.7
	平均対差		2.7	△ 2.9	△ 0.2	0.1	0.2	0.1
関東・東山								
重量割合	本年値	100.0	71.1	21.0	3.5	2.3	1.3	0.8
	平均対差		3.0	△ 1.9	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2
東 海								
重量割合	本年値	100.0	75.2	17.1	3.3	2.0	1.3	1.1
	平均対差		△ 1.9	1.0	0.2	0.3	0.2	0.2
近 畿								
重量割合	本年値	100.0	77.0	15.4	2.9	2.3	1.4	1.0
	平均対差		2.5	△ 2.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.0
中 国								
重量割合	本年値	100.0	81.7	12.4	2.4	1.7	1.1	0.7
	平均対差		4.9	△ 3.6	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.2
四 国								
重量割合	本年値	100.0	70.2	19.9	4.3	2.8	1.8	1.0
	平均対差		6.5	△ 4.3	△ 1.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3
九 州								
重量割合	本年値	100.0	67.0	22.1	4.7	3.0	2.0	1.2
	平均対差		9.7	△ 5.8	△ 1.8	△ 1.0	△ 0.6	△ 0.5

単位 : kg

区分	10a当たり 収 量 (1.70mm選別)	選別ふるい目幅別10a当たり収量				
		2.00mm 選別	1.90mm 選別	1.85mm 選別	1.80mm 選別	1.75mm 選別
全国農業地域						
全 国	522	393	484	500	511	518
北 海 道	475	318	434	453	466	472
東 北	557	447	526	540	548	554
北 陸	528	420	497	510	518	524
関東・東山	531	378	489	508	520	527
東 海	485	365	448	464	473	480
近 畿	499	384	461	476	487	494
中 国	512	418	482	494	503	508
四 国	483	339	435	456	469	478
九 州	506	339	451	475	490	500

- 注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。
 2 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことである。
 3 台風等により未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

【参考2】

平成21年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (89)	石狩	93	群馬 (101)	中毛	101		
	南空知	89		北毛	99		
	北空知	91		東毛	101		
	上川	83		埼玉 (101)	東部	102	
	留萌	87			西部	99	
	渡島	97			千葉 (99)	京葉	99
	檜山	92				九十九里	99
	後志	96		南房総		97	
	胆振	92		東京 (99)	東京	99	
	日高	95			神奈川 (102)	神奈川	102
十勝	88	新潟 (99)	岩船	100			
網走	57		下越北	98			
青森 (101)	青森		99	下越南		99	
	津軽	101	中部	99			
	南部・下北	99	上越	100			
		99	佐渡	99			
岩手 (100)	北上川上流	101	富山 (100)	東部	100		
	北上川下流	100		西部	100		
	東部	98	石川 (98)	加賀	98		
	北部	95		能登	99		
宮城 (100)	南部	99	福井 (97)	嶺北	97		
	中部	99		嶺南	93		
	北部	100	山梨 (96)	山梨	96		
	東部	101		長野 (96)	東信	97	
秋田 (99)	県北	98			南信	95	
	県中	97	中信	95			
	県南	101	北信	97			
山形 (100)	村山	102	岐阜 (94)	西南濃	95		
	最上	99		中濃	93		
	置賜	98		東濃	95		
	庄内	100		飛騨	93		
福島 (101)	中通り	101	静岡 (97)	東部	97		
	浜通り	99		中部	95		
	会津	100		西部	97		
茨城 (100)	北部	101	栃木 (101)	北部	100		
	鹿行	100		中部	101		
	南部	99		南部	102		
	西部	102					

平成21年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）（つづき）

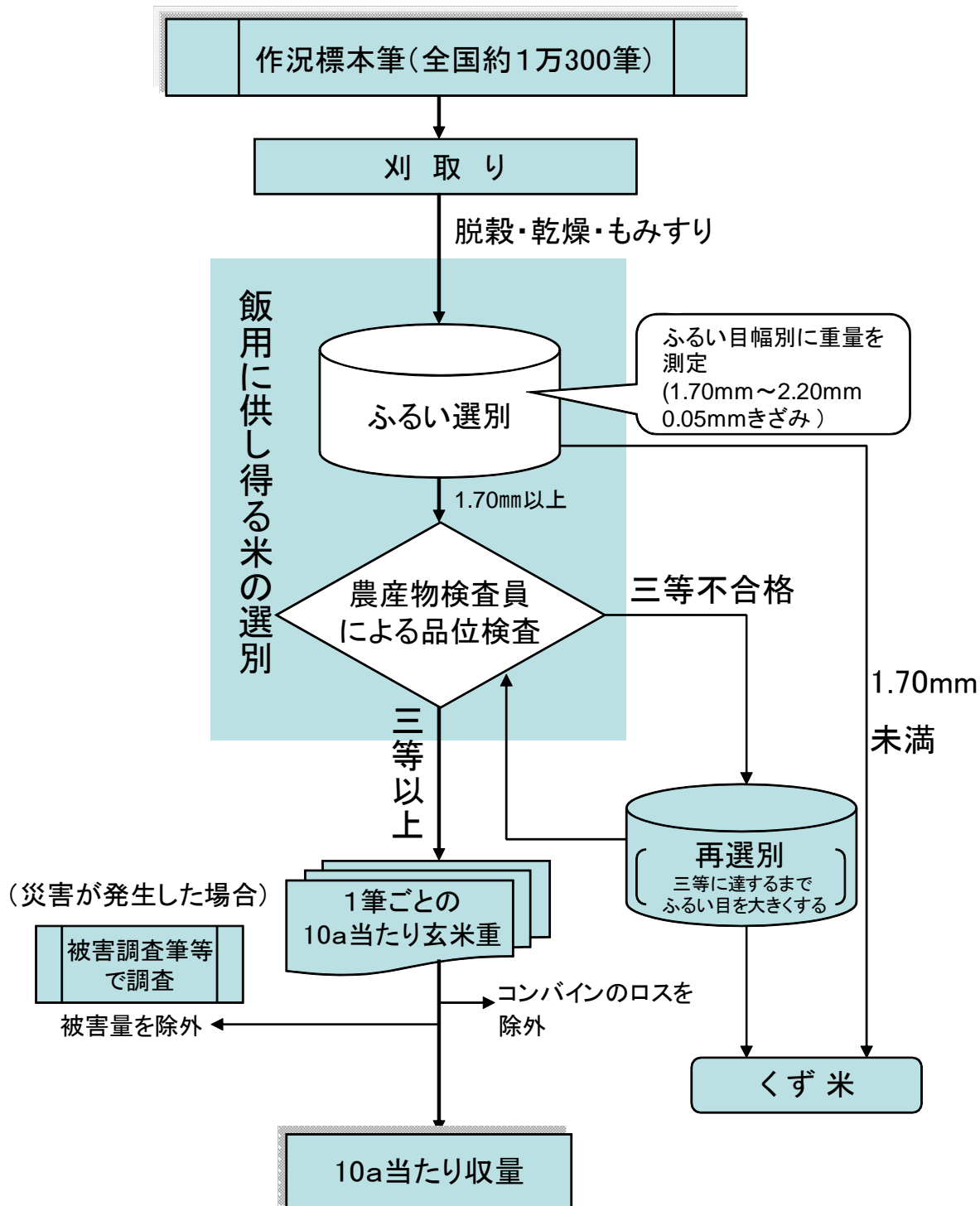
都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (98)	尾張	99	高知 (102)	中東部	102
	西三河	98		西部	103
	東三河	98			
三重 (96)	北勢	97	福岡 (100)	福岡	98
	中勢	95		北九州・豊前	100
	南勢	96		筑豊	97
	伊賀	97		北筑後	102
				南筑後	102
滋賀 (99)	湖南	99	佐賀 (100)	佐賀	101
	湖北	98		松浦	95
京都 (95)	南部	97	長崎 (101)	西彼	99
	北部	92		東南部	101
大阪 (100)	大阪	100		県北	102
				五島	100
				壱岐・対馬	98
兵庫 (98)	県南	99	熊本 (100)	県北	101
	県北	94		阿蘇	97
	淡路	97		県南	101
奈良 (100)	奈良	100	天草	97	
和歌山 (100)	和歌山	100	大分 (100)	北部	100
鳥取 (94)	東部	94		湾岸	100
	西部	94		南部	99
				日田	100
島根 (96)	出雲	96	宮崎 (104)	広域沿海	107
	石見	96		広域霧島	101
岡山 (102)	南部	103		西北山間	100
	中北部	100	鹿児島 (103)	薩摩半島	105
広島 (100)	南部	100		出水薩摩	104
	北部	99		伊佐始良	98
				大隅半島	106
				熊毛・大島	106
山口 (99)	東部	101	沖縄 (103)	沖縄諸島	98
	西部	99		八重山	105
	長北	95			
徳島 (99)	北部	100			
	南部	99			
香川 (99)	香川	99			
愛媛 (99)	東予	100			
	中予	97			
	南予	100			

注：西南暖地の早期栽培等の地域（徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県）は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【参考3】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考4】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考4】

ふで 作況標本筆とは

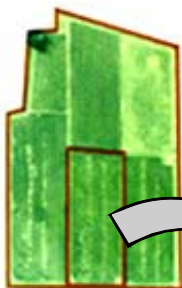
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万300筆)、調査している。

都道府県内の全耕地
(母集団)



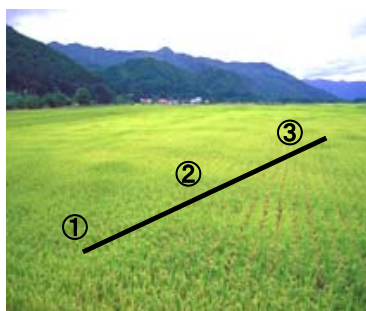
- ① 都道府県ごとの耕地を、約2haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(約2ha)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万300筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3か所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行った。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の中の予想収穫量調査として実施し、水稻の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：32,180単位区 巡回・見積り：1,778市町村

(2) 予想収穫量調査

作況標本筆：10,285筆 作況基準筆：619筆 巡回・見積り：1,778市町村

4 調査事項

水稻の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

5 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：10月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

(2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

- (1) 作付面積調査
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
- (2) 予想収穫量調査
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 利用上の注意

本調査(10月15日現在)は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。
したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

10 その他

本調査についての確定値は、「平成21年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

- 米に関する累年データは、農林水産省ホームページ中の農林水産統計情報総合データベースに掲載しています。【 <http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei> 】

【関連リンク】

米関係ページ：農林水産省＞食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>
農林水産省＞生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

米政策改革情報ページ：<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/jyukyu/komeseisaku/>

全国米穀取引・価格形成センター：<http://www.komekakakucenter.jp/>



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施します。

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。



問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房 統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：03（3502）5687

面積統計班

電話：03（6744）2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部

統計企画課 広報普及班

電話：03（6744）2037

21年産米の作柄(10月15日現在)を踏まえた国産米の需給見通し

(単位:万トン)

	10月15日現在作況 を踏まえた需給見通し	(参考) 基本指針策定時 (21年7月)
21年6月末在庫 A	298	298
21年産主食用米等生産量 B	831	815
21/22年主食用米等供給量計 C=A+B	1,129	1,113
21/22年主食用米等需要量 D	821	821
22年6月末在庫量 E=C-D	308	292

注1: 当該需給見通しは、国産米の需給見通しであり輸入米(MA米)を含まない。

注2: 21/22年は、21年7月から22年6月までの1年間である。